

～防災教育を通して～



長い夏休みが明け、前期後半がスタートしました。毎年全国各地で水の事故等心の痛むニュースを聞きますが、休み中は大きな怪我や事故の報告もなく、安心いたしました。保護者、地域の皆様に心より感謝を申し上げます。

近年、日本各地でいつ自然災害が起きてもおかしくない状況が続いています。この夏も、熊本地震や千葉豪雨等により、多くの尊い命が失われました。謹んでお悔やみを申し上げます。また、被害にあわれた皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

災害はいつ起こるかわかりません。学校でも改めて災害時の避難等について確認し、安全安心に学校生活を送ることができるように努めてまいります。また、子供達と日常生活を振り返り、当たり前の日常に感謝をして過ごす気持ちや、被災された方の痛みを自分事として受け止めるような思いやりの心を育てていきたいと思います。AIの普及等加速する現代社会においても、他者の思いに共感し、支えあおうとする心は大切にしたいものです。9月1日は防災の日です。ご家庭でも災害への備えを確認するとともに、折に触れて感謝の気持ちや思いやりについて話題にしていいただければ幸いです。

前期終了まで約1か月となりました。長期休業明けで、体調不良や不安を抱えるお子様もいるかと思います。学校でも一人一人の様子を見守り、心のケアに努めてまいります。ご家庭でご心配なことがありましたら早めに担任までご連絡ください。保護者の皆様、地域の皆様とともにお子様の更なる成長を支えていきたいと思います。引き続き本校教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長